

平成28年度

川崎市地域自立支援協議会について

平成28年11月7日(月)

第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議

平成28年度の体制

【長期目標】

『ともに暮らすまちづくり ～みんなにやさしい川崎市～』

【短期目標】

『地域自立支援協議会構成員のネットワークの強化』



定例会 【活動内容】 構成員間のネットワーク作りの活動、各専門委員会の活動報告

①課題抽出意見交換会(7月、11月)

(第1回)実施日 7月12日

内 容 ・平成27年度までの課題についてのフィードバックと精査及び優先順位の検討
・新たな問題の抽出

(第2回)実施日 11月8日(予定)

内 容 ・第1回で抽出した問題の整理、課題提出票の作成

定例会 【活動内容】 構成員間のネットワーク作りの活動、各専門委員会の活動報告

②地域包括支援センターとの交流会(2月)



「地域包括支援センターと企画運営会議の話し合い」に変更

平成23年度から毎年実施してきましたが、今後の交流会のあり方や目的などについて検討する必要があるため、今年度は全体では実施せず、企画運営会議との話し合いに変更します。※時期については地域包括支援センターと調整中です。

定例会 【活動内容】 構成員間のネットワーク作りの活動、各専門委員会の活動報告

③研修会(9月)

(第1回)実施日 9月13日

会場 かわさき障害者福祉施設たじま

内容 ・成年後見制度について

※行政書士の方5名に御協力いただき、制度説明とグループワークを実施。

・「かわさき障害者福祉施設たじま」見学会

(第2回)実施日 2月上旬(予定)

内容 検討中

専門委員会① 【児童委員会】

【長期目標】
『教育機関等との情報共有』
【短期目標】
『支援者への情報発信』



「川崎区障害児支援機関一覧表」の作成

- ・「情報の不足」に係る課題解決に向け、平成27年度からの継続取組
- ・「支援者が知識を持ち、相談を適切に受けられること」を目的とした支援者用冊子
- ・12月の完成を目指し現在作成中
- ・配布先(予定)
児童関係事業所、教育機関、相談機関 等

専門委員会② 【相談支援委員会】

【長期目標】
『つながり上手になる』
【短期目標】
『事例を通じてつながり方を共有する』

各分野からの事例紹介の実施

～具体例を通してつながりを考えていく～

- 8月 関係機関の多いケース
- 10月 専門機関、行政、児童、
相談支援センター
- 12月 就労系、相談支援センター(予定)



専門委員会③ 【地域つながり委員会】

【長期目標】
『市民の声を聞き・つながり、支え合える地域づくりを目指す』
【短期目標】
『地域の資源を知り学ぶ』

- 9月 「成年後見制度研修とかわさき障害者
福祉施設たじま見学会」の開催
- 11月 福祉まつり参加(予定)
※相談ブース、視覚障害者向け用具の体験コーナー
の設置、広報活動等
- 2月 研修会の開催(予定)



平成28年度 幸区地域自立支援協議会

平成28年11月7日(月)
第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議

平成27年度

《テーマ》

つながりのある住みやすい街をつくろう ～課題をキャッチ～

『つながる』をキーワードに活動を展開

事務局会議	連携委員会	課題整理委員会	当事者委員会
<ul style="list-style-type: none">お父さんと障害のある子供たちのふれあいサッカーイベント町内会・民生委員児童委員との連携施設見学、区内社会資源を知る	<ul style="list-style-type: none">地域包括との交流会教育と福祉の連携	<ul style="list-style-type: none">サビ管との交流会事例検討ひとことタイム	<ul style="list-style-type: none">当事者公募に向けた準備



事務局会議、各委員会のまとめを受け、区協議会事務局会議にて、上記内容について改めて地域の課題かどうか、落とし込みの作業を実施。次年度、協議会として取り組む課題を整理。

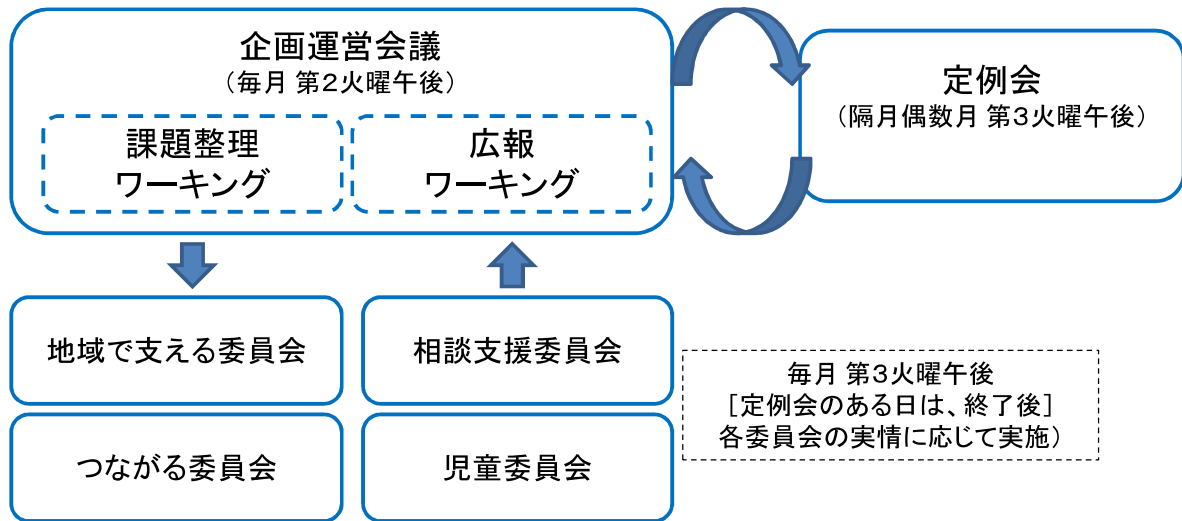
平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制①

長期目標(期間:平成29年度~30年度)

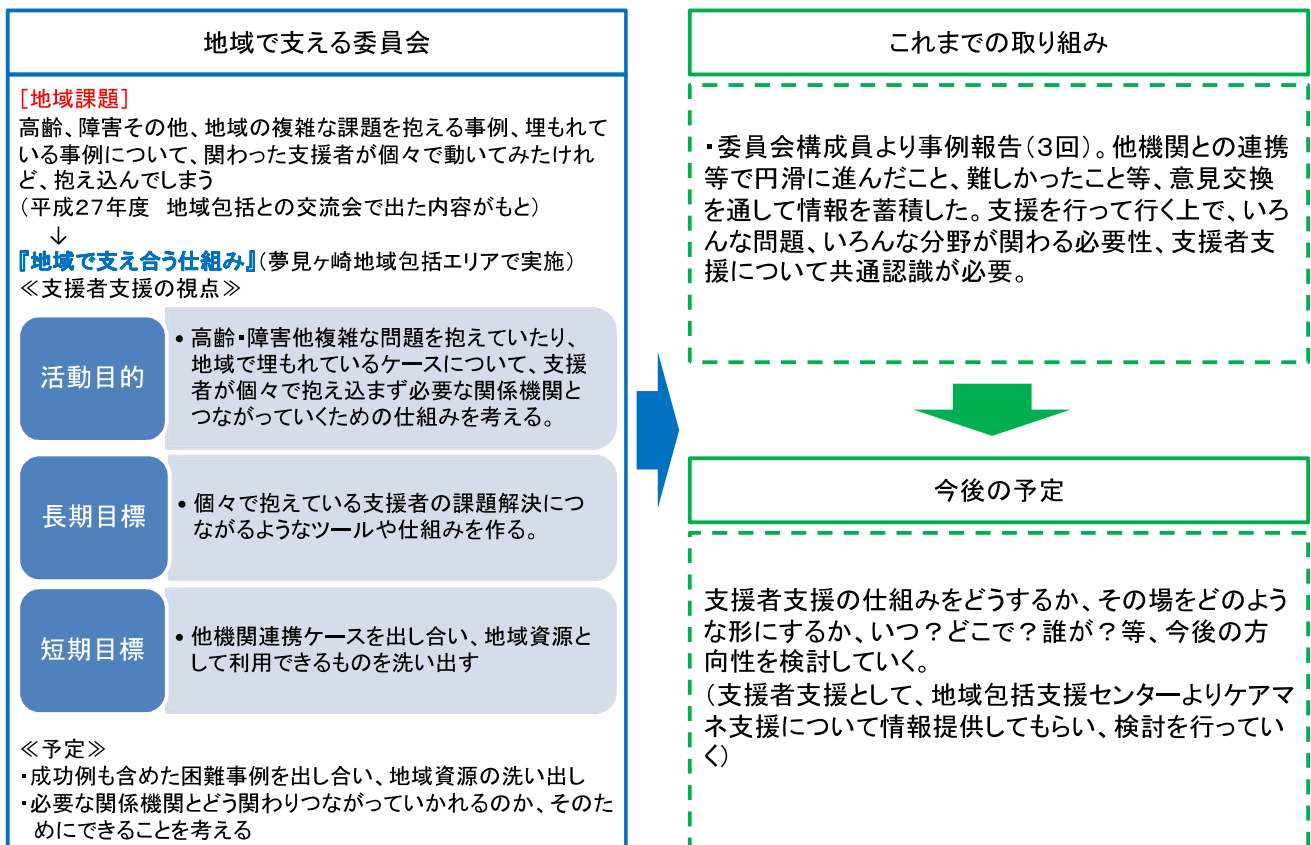
- 顔の見える関係で地域が連携し、暮らしやすさにつなげる

年度目標(期間:平成28年度)

- 構成員全員が協働しながら、地域の実態や課題等の情報を共有する



平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制②-1



平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制②-2

つながる委員会

[地域課題]

・本人(の状態)に合った福祉施設を利用できているのかの検証が難しい。福祉施設の特徴(情報)が整理しきれていない。



『**社会資源の横のつながり**』(サビ管同士の連携)

[地域課題]

支援が必要だが、まだ支援が届かない・知らない人が地域に多くいる。



『**地域の小さな情報が入りやすい雰囲気、ネットワーク作り**』

(民生委員児童委員、地区社協への働きかけ)

活動目的

- ・地域ネットワーク構築のための企画を行う

長期目標

- ・地域ネットワークの土台を作る

短期目標

- ・地域がお互いの活動を知る。協議会を知ってもらう。

≪予定≫

- ・社会福祉協議会へのコンタクト
- ・民協の代表者委員会挨拶
- ・区内生活介護事業所サビ管との意見交換会

これまでの取り組み

○8月定例会にて、幸区社会福祉協議会事業概要紹介

○民生委員とのつながりについて、夢見ヶ崎地域包括支援センター職員と意見交換。
・地域包括支援センターについての説明を10年続けており、継続したアプローチが必要。

○サビ管同士の連携
小向このはな園サビ管を中心に調整中

今後の予定

○サビ管同士の連携
12月実施予定。実施内容については検討中。

平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制②-3

相談支援委員会

[地域課題]

相談支援を巡る課題は多岐にわたっている。



課題の洗い出しから開始

活動目的

- ・地域の相談支援体制を確立し、トータルな生活を支援する。

長期目標

- ・地域の相談支援の在り方を検討して、相談支援のネットワークをつくる。

短期目標

- ・幸区内や近隣区域の、相談支援事業の実情を知る。

これまでの取り組み

幸区では障害福祉サービスの利用者数は約800人。委託相談事業所での計画作成数は約200件であり、指定特定相談支援事業者体制整備が必要。

8月：課題提出票を提出

9月：今年度新規の指定特定事業所3ヶ所訪問。

- ・課題に感じている事の確認
- 報酬に関する事柄、計画相談の流れがわからない、計画相談の記載の仕方がわからない等(量、質、ネットワークをキーワード)

今後の予定

10月：委託相談支援センター意見交換会

1～2月：指定特定相談支援事業所との意見交換会

2月：障害児相談支援勉強会

平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制②-4

児童委員会①

[地域課題]

学齢期に支援が必要と思われるエピソードはあるが、社会に出たからつまづく等、生活の立て直しが困難。



『学齢期における教育と福祉の連携』

活動目的

- 学齢期における教育と福祉の関わりを広げる

長期目標

- 幸区内特別支援教育コーディネーターとの連携

短期目標

- 幸区内教育関係者への発信

- 成人してからの手帳取得数などの実態調査
- 幸区内中学校特別支援教育コーディネーターへの訪問

これまでの取り組み

- 療育手帳保有数実態把握
- 区内療育手帳保有人数、高卒までの手帳取得人数を年代別にデータを明らかにする。



時代背景等を勘案し、データから推測できる原因を探る



今後の予定

- 区内中学校の現状把握
- 御幸中学校特別支援教育コーディネーターとの意見交換



平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制②-4

児童委員会②

[地域課題]

父親が子育てに関わる機会が少なく、父子関係に影響したり、父親の力が発揮できない



『父親相互の横の連携を図り、父親の力を高める』

(父親と障害のある子供たちのふれあい)

活動目的

- 父親相互の横の連携を図り、父親の力を高める

長期目標

- 父親同士が語り合える場を設定し、つながりを作る

短期目標

- 父親が子どもと気軽に参加できる場を設定し、父子の触れ合う機会を作る

≪予定≫

- 父と障がいのある子のふれあいサッカーイベント (川崎フロンターレ協力)
- お父さん語り場(仮)

これまでの取り組み



今後の予定



父子で楽しむふれあいサッカー教室

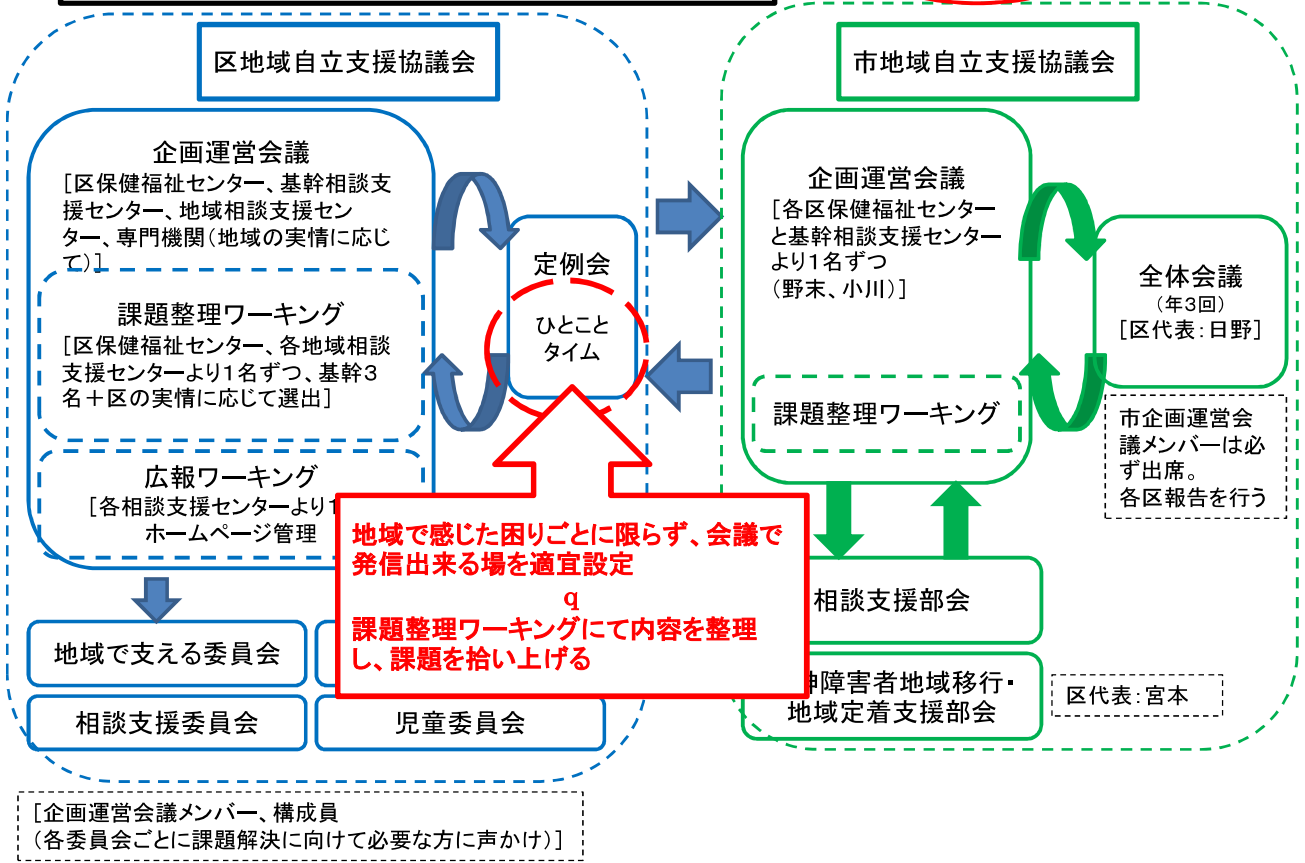
障害のあるお父さんと父親が、川崎フロンターレのスクール種及コーチと一緒にサッカーができるイベントです。

- 日時 11月27日(日) 午後2時～3時30分
- 場所 東芝小体育館(小向東芝町1)
- 対象 障害のある小・中・高校生と保護者20組 (母親も可)
- 主催 幸区地域自立支援協議会
- 申込 10月17日から電話でFAXで。(先着順)



平成28年度 幸区地域自立支援協議会体制③

構成員役割



平成28年度

中原区地域自立支援協議会

平成 28年 11月 7日（月）
第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議資料

平成27年度 中原区地域自立支援協議会 テーマ 「つながろう中原」

○中原区事業所連携委員会

- ・ 中原区内の障害に関連するサービス事業所の紹介出来る冊子を作成。

平成27年度は試作段階として協議会に参加している構成員が自身の所属事業所を紹介したものを冊子としてまとめ、配布しました。

○普及啓発委員会

貸して安心ガイド 区内の“神奈川県あんしん賃貸住宅”協力店となっている不動産屋さんを回り「貸して安心ガイド」についてのアンケートを実施

当事者活動の側面支援として「なかはらファミリー」開催に当たり、実行委員の想いが活動に反映されるようサポートスタッフとして活動を後方支援しています。年3回実施し、10名前後の参加者

広報誌の作成

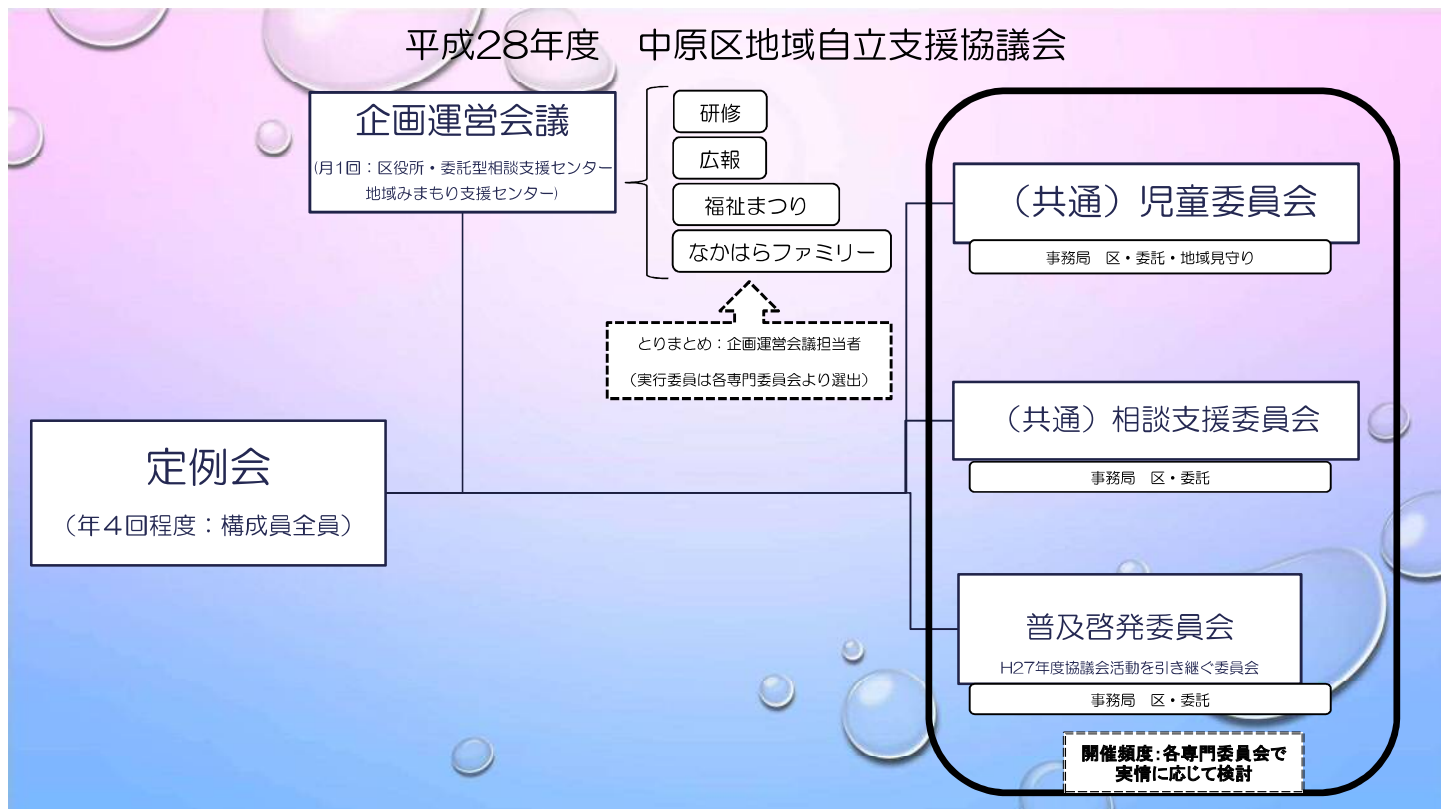
普及啓発活動の一環として、広報誌「なかはら楽通信 創刊号」を作成しました。

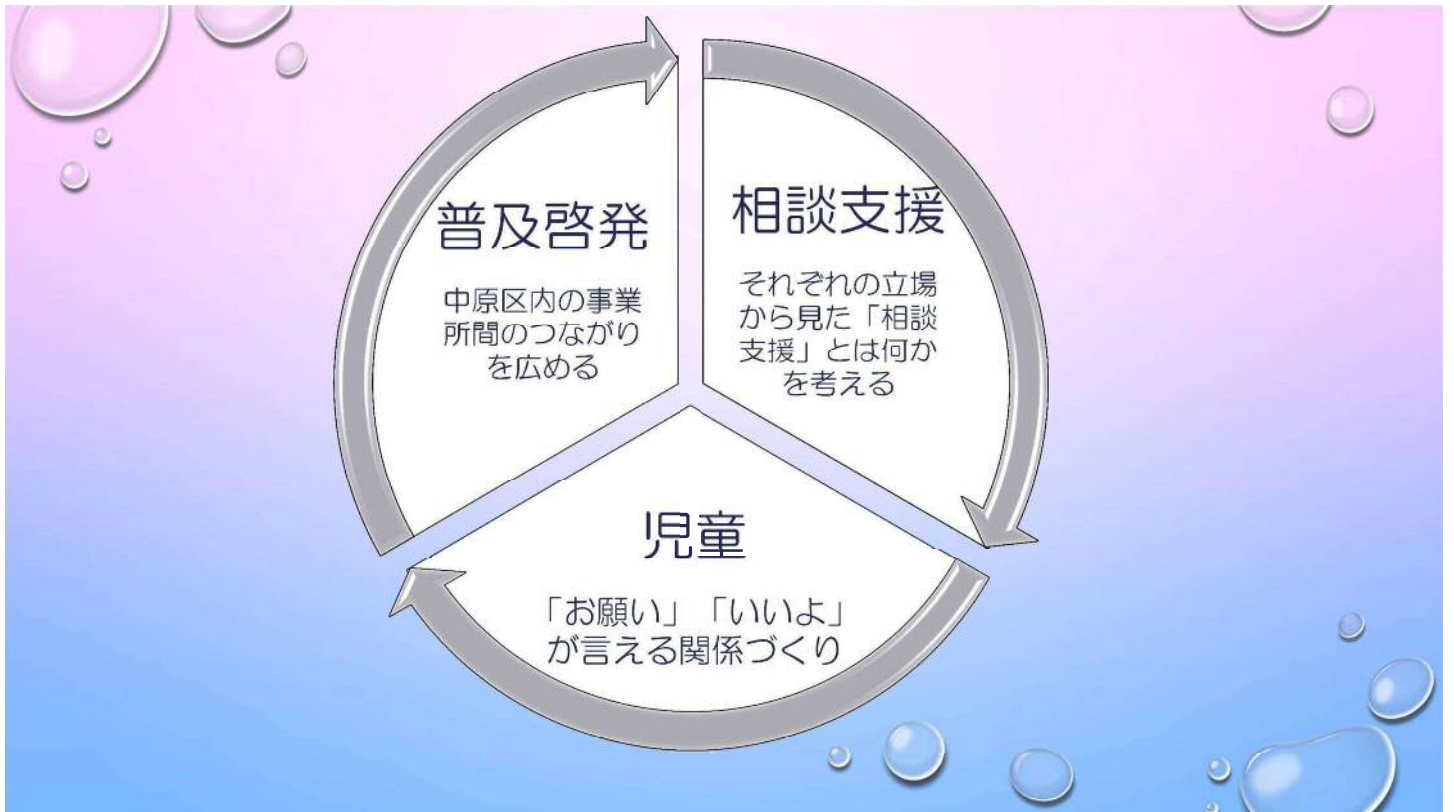
○長期目標（平成28～29年度）

「中原区地域自立支援協議会の体制作り」

○短期目標（案）（平成28年度）

「中原区内の事業所の役割を知り、伝える」





児童委員会

・【短期目標】

- ・ 中原区内の配慮の必要な子どもたちの放課後を知る

・【長期目標】

つながる、広がる、支え合う

【これまでの取り組み】

- 協議会活動の中で構成員から、配慮の必要な子ども（とりわけ特別支援学級在籍児）の保護者の中でも多くの情報に接することのできている保護者とそうでない保護者との間で情報格差が生じ、子どもが不利益を被っているなどの意見が出された。そうした意見などを受け、支援を必要とする方への適切な情報提供の一環として、

⇒ 配慮の必要な子どもの放課後の居場所や利用可能な制度・サービスを調べ、展示物を作成。

中原区の **福祉まつり**（H28年11月5日）にて、広報・周知活動を行った。

- 同じく構成員から、放課後等デイサービス事業所の新規開設が相次ぐ中で、利用の仕方や上限管理等について混乱が生じているとの問題を受け、中原区内の放課後等デイサービスの事業所に声をかけ、

中原区放課後等デイサービス連絡会 を開催

（第1回；平成28年9月12日、第2回；平成28年10月17日）

⇒ 区内の多くの事業所からの参加があり、さまざまな意見交換や課題の共有を行うことができた。

【今後の取り組み】

これまでの取り組みをふまえて、区内の配慮の必要な子どもの放課後の課題等を整理し、課題提出票等に落とし込んでいく。そして、課題整理ワーキングにあげ、次年度に向けた検討を行っていく。

相談支援委員会

【短期目標】

事例を通して相談支援従事者の関わり方（姿勢）を検証する

【長期目標】

中原区内の相談支援体制の標準化をめざす

【これまでの取り組み】

- 意見交換
「それぞれの立場から相談支援とは何かを考える」
「相談支援事業所の考える相談支援」
「各事業所の現況の報告」
 - 事例検討
事例検討を実施し出てきた問題より、委員会の取り組みの内容を具体化する。
相談支援専門委員会として事例検討の中から以下の3点を課題提出票に落とし込みの作業を行なうことになった
- ① 児童相談所について知る。
 - ② 児童期から成人期への移行時に支援が途切れる。繋がらない。
 - ③ 支援機関が情報共有するためのツールがない。

【今後の取り組み】

- ・事例検討の中から上記の3点を検討事項として挙げ今後、課題を課題提出票に落とし込みの作業を行なう。
- ・個別支援の検討を重ね、課題提出票に落とし込む作業の中で、必要な際には児童委員会や普及啓発委員会にも協議を依頼、意見交換の機会を設けることも、検討する。

普及啓発委員会

【短期目標】

中原区内の事業所について知る

【長期目標】

顔の見える関係性を作る

【これまでの取り組み】

- 支援機関より「中原区内の障害者対象の事業所を知らないため、聞かれても自分が繋がっている他区の事業所を紹介してしまう。また、事業所の種別も多く、新規事業所も増えている。事業所毎にどのような特色があるのかが分かると、支援側の立場としても紹介しやすい」という意見があがる
⇒中原区内の障害に関連するサービス事業所の紹介冊子

「**なかじぎょナビ**」を作成

【今後の取り組み】

- 「**なかじぎょナビ**」に掲載した事業所のうち、協議会構成員以外の事業所へ訪問。
事業所の日常を伺いながら、協議会として協議できる問題点なども聞き取れた場合は、課題整理表を活用し、課題整理ワーキングにあげ、検討を図る

その他の活動

【なかはらファミリー】



当事者活動の側面支援として「なかはらファミリー」開催に当たり、実行委員の想いが活動に反映されるようサポートスタッフとして活動を後方支援しています。今年度は年3回実施予定です。

【研修】 12月16日（金）14：00～
テーマ「親亡き後を見据えて」（予定）
講師 田部井 恒雄 氏

【広報】

「なかは楽通信 第2号」作成中
12月の研修の際に配信予定！

【福祉まつり】

11月5日（土）中原区地域自立支援協議会の
紹介、ミニ相談会などを予定

高津区地域自立支援協議会



長期目標（平成28～29年度）

「知る 知らせる 理解する
・・・互いを知る 課題を知る 地域の力を知
る・・・」
から一歩踏み出そう！

～高津区の現状（課題と地域力）を共有し、
一緒に取り組めるつながりをつくる～



短期目標（平成28年度）

各委員会での目標を中心に、協議会内での委員会のつながり、取り組みを共有する



各委員会の目標・取り組み内容

相談支援委員会	地域移行の課題共有 病院との協力関係を継続
交流企画委員会	関係機関との連携強化 研修開催
みんなの居場所づくり委員会	イベント参加の継続・定着 当事者定例会の開催
児童委員会	抽出された課題から今後の 取り組み内容を検討

相談支援委員会

長期目標 地域移行・地域定着の促進をはかる

短期目標 高津区の地域移行・地域定着の実情を知る



<活動内容>

- ・入院患者とお互いを知るための企画、立案
- ・構成員向けの研修を企画。

今後の予定

・ピアたちはばなどハートフル川崎病院で実施されている懇親会に参加し、**入院患者と顔の見える関係を作る**
(平成28年11月実施予定)

・先駆的に地域移行・地域定着に取り組まれている東京都三鷹市の巣立ちの会の方をお招きし**実際に地域移行に対する取り組み**
(平成29年1月実施予定)

交流企画委員会

長期目標 福祉・教育・地域の連携を図り、当事者の方たちの思いを地域に発信する。

短期目標 防災への取り組みを通じて、地域で生活する方と当事者の方との相互理解を深める。

<活動内容>

地域包括支援センター・まちづくり協議会・こころのバリアフリー推進事業等と一緒に、研修会の企画・立案。



今後の予定

手をむすぶ親の会の講演会への協力(11月10日予定)

こころのバリアフリー推進事業の講演会への協力
(12月17日予定)

福祉のまちづくり交流会(1月19日予定)

地域包括支援センターとの連絡会(2月7日予定)

みんなの居場所づくり委員会

長期目標 活動の中で、少しずつ当事者が主体的にできることを増やしていく。

短期目標 当事者が地域に関わるためのイベント参加の継続・定着し、当事者定例会を開催する。



<実施した内容>

イベントに向けての準備・当事者定例会の企画・準備

- ・多摩川美化運動（6/5実施）
- ・どんなもんじゃ祭り（6/19実施）
- ・高津区民祭（7/31実施）
- ・市内統一美化運動（9/25実施）
- ・当事者定例会の開催（8月・10月実施）

今後の予定

- ・ええんじゃないか祭りへの参加（H28.1月実施予定）
- ・当事者定例会(隔月開催)

児童委員会

長期目標 より良い療育の為にネットワークづくりを目指す

短期目標 高津区内にある児童発達支援事業所や放課後等デイサービスと定期的な交流の機会を目指し、ネットワークを構築する



<活動内容>

- ・他区や児童対象施設の状況確認
- ・交流会の内容の検討、準備

今後の予定

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所との交流会
(11月8日実施)

短期目標への取り組み

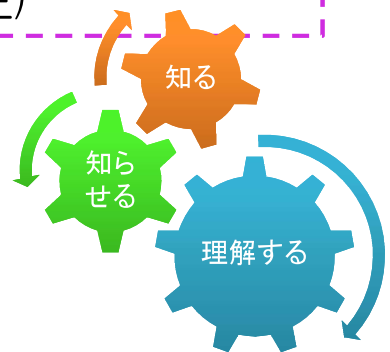
5月 定例会で、各委員会の今までの活動報告実施

10月 相談支援委員会・
みんなの居場所づくり委員会の
活動報告

11月 交流企画委員会・
児童員会の活動報告(予定)

その他

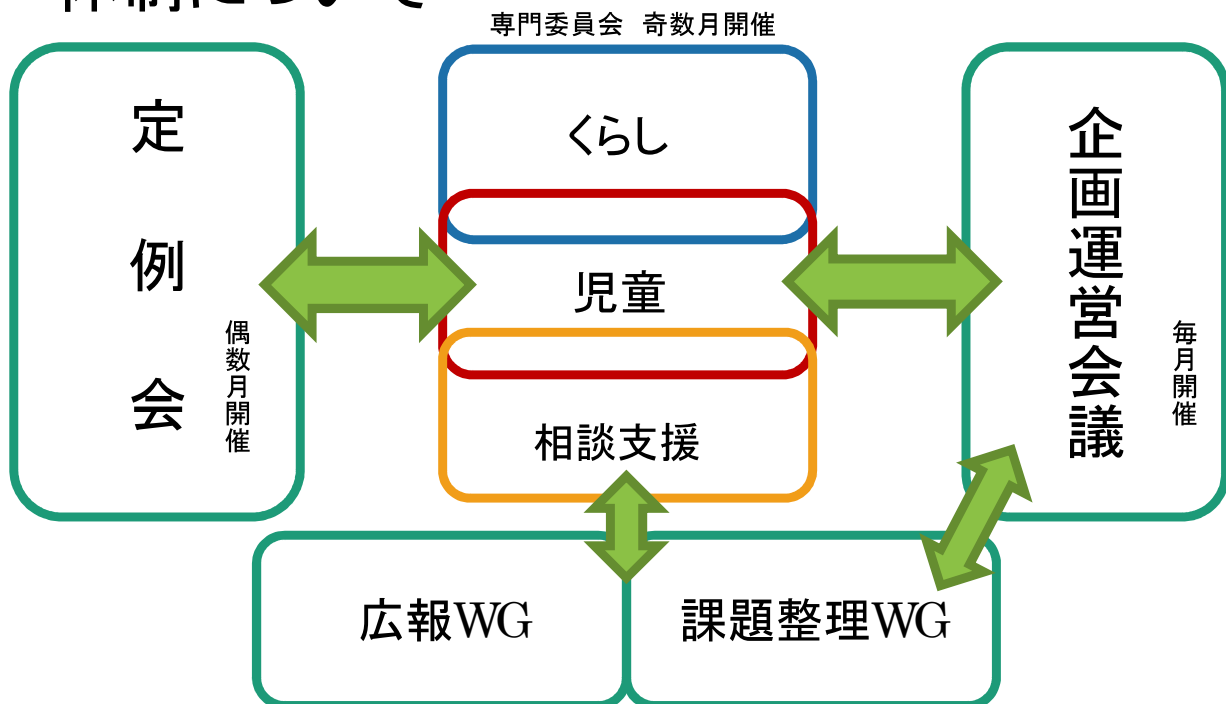
企画運営会議では、毎月活動状況の把握を実施。



平成28年度 宮前区地域自立支援協議会の活動報告

平成28年11月7日(月)
第2回川崎市地域自立支援協議会全体会議

体制について



平成28年度 宮前区地域自立支援協議会の体制

目指すべき事柄

区協議会の活動を通して、障害のある人もない人も暮らしやすい地域にしていくこと



区協議会事務局会議



地域でつながって、どうしていきべきか・・・？

長期目標 地域でつながり、みんなの暮らしやすさを広げる

短期目標 宮前区の今の地域資源や課題を知る



【児童委員会】 年度当初設定内容

活動目的 (障害児)子育て支援の情報収集と提供

長期目標 今まで情報が届かない人に情報を届ける

短期目標 今困っていることを吸い上げる



児童委員会の活動状況

情報紙「ふれあいJkNO4」の発行準備

小学生のお子さんを持つ保護者に向けた情報

～居場所をみつけよう！～(放課後ディ・サークル等の情報提供)

10月24日(月) 地域支援講座開催

「学齢期のサポート ～子どもたちの育ちを一緒に考えましょう～」

～昨年度に続き、第2回目の開催！

講座終了後 個別相談対応の時間を設けます。～

* イメージ画像



平成27年度 地域支援講座

志にこの年齢のお子さん向けの書籍です

乳児 幼児 小学生 中学生 高校生 大人へ 無料ふれあいJk No.3

お子さんの発達や
ちょっと心配？
ご本人が保護者の声！

いよいよ小学校！ 保存版

「座ってられない」「教室の外に出てしまおう」「勉強についていけない」「友達とのトラブル」など、小学校に入ったとたん、親子で戸惑うことも少なくありません。家庭でも聞けることや、相談窓口、受けられる支援について、知っておきましょう。

小学校入学までの流れ

10月(就学時健診のお知らせ)
区から学区の小学校の就学時健診の案内が届きます。

10月～11月(就学時健診)
学区の学校で健診がおこなわれます。
ご不安なことについて相談することもできます。

1月～2月(入学説明会)
入学予定の学校で入学までに準備しておくことなどの説明があります。

4月からの学校生活で困ることがないように、お子さんの発達状況や気になることがあったら学校に相談していただくことも可能です。そうすることで、学校もお子さんを受け入れる準備をすることができます。就学前に相談は下記の場所でも受け付けています。

お子さんの就学に関する相談はここ！

川崎市総合教育センター 溝口相談室

場所 溝口区溝口6-9-3
電話 044-844-3700(平日午前9時から午後4時30分まで)
来校予約(午休)・予約制の児童生活支援保護者の皆さんの相談をお受けします。
＜電話相談＞電話による無料相談です。相談者の必要や学校にも尋ねることがあります。気軽に相談できます。その分、十分な解決を求めるのは難しいこともご認識ください。
＜来所相談＞児童生活支援のことについて一緒に考えるための、担当者の出張による相談です。保護者のみから電話でお申し込みください。



【相談支援委員会】 年度当初設定内容

活動目的 個別支援の中で、出てきた課題の解決

長期目標 協議会で取り組む相談支援の課題について整理する

短期目標 相談支援に関する課題を整理する



相談支援委員会の活動状況

課題出しの方法を検討(委託の相談支援と区役所CWが日頃の相談支援活動から問題と思うことを出し合っていく!)
テーマを決めて、問題出しからスタート。問題を分析し課題に設定していく。

8月: 計画相談支援・1次相談について(個別の問題だし)

10月: 医療・地域移行・住まいについて(個別の問題だし)

今後の予定

「権利擁護」「地域連携」「教育」「就労」等々..

【くらし委員会】 年度当初設定内容

活動目的 障害がある人の暮らしづらさの解消に向けて取り組む

長期目標 地域の人々やサービスにつながない人にも役立つ情報を伝える

短期目標 「防災」と「移動」に関する現状を明らかにする



くらし委員会 の活動状況

東名 高速道路
TOMEI EXPWY

- ・「防災」: 薬についてのアンケートを実施。薬に関して、困ったこと・工夫していること等、災害に関わらず広く情報収集。
- ・「移動」: 現在使用している移動手段について使い勝手や工夫していることを聞き取る アンケートを実施予定。

どちらのテーマも、
アンケート結果を分析し、今後の活動内容を決めていく。

各委員会の活動報告④【ワーキング】

広報

- 区ホームページの内容更新
- 区協議会パンフレットの作成
- 情報紙「ほっととらいあぐる」の発行



課題整理

- 各委員会のアンケートや課題整理の情報を基に、課題を整理していく予定。

その他の活動 (8/16 包括支援センターとの交流会)



次回は12月開催予定
相談支援と包括とで勉強会を開催予定

ライフステージに関わらず顔の見える関係づくり(ネットワーク)を目標に、お互いの所属する機関の特徴や利用方法について知り合い、困った時に相談し合える関係づくりの機会を目的に開催。

グループワークを行いました！
各グループの中で、お互いの活動について知り合い、小地域情報をもとに、課題と感じている事柄を共有したり、当事者の方から日常生活の工夫やしづらさについて、話し合いをすることができました。

多摩区地域自立支援協議会

平成28年11月7日
川崎市地域自立支援協議会第2回全体会議
於：市役所第3庁舎

28年度 多摩区地域自立支援協議会の目標

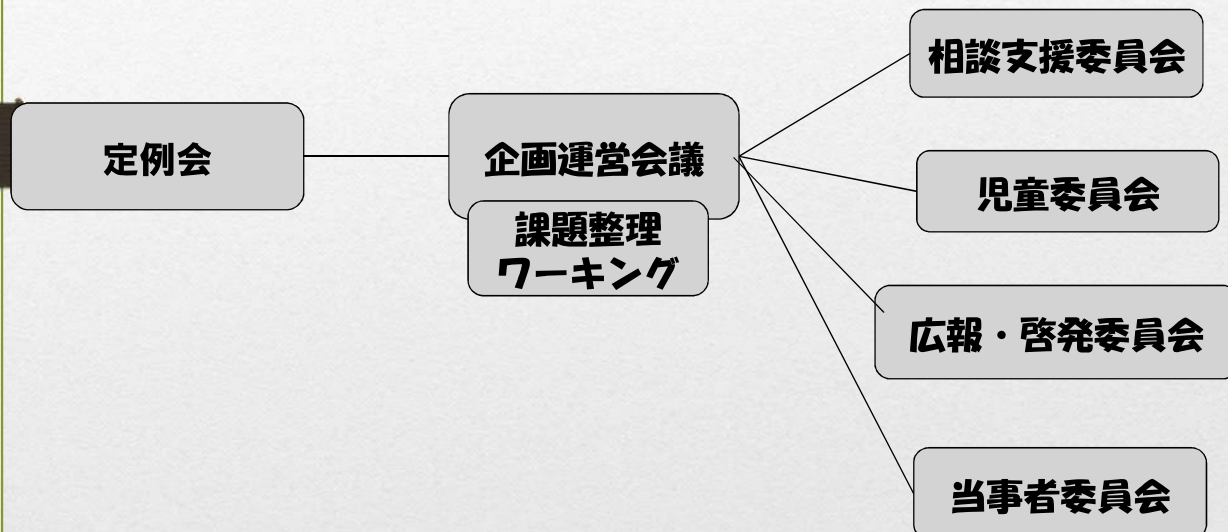
長期：さらに一步！地域とのつながりを深める
（平成28年～29年度）

短期：たくさんの人と知り合おう！

平成28年度の活動体制

企画運営会議、各委員会は 月1回 開催。

定例会は 偶数月 開催。



広報啓発委員会

目標:協議会の活動と、地域のことかわかる広報紙を2回発行する。
各イベントでの広報活動の具体案を出す。

地域のイベント、サークル活動の情報を集め、障がいのある方も参加出来るものについて情報発信する活動を行います。

- ・広報紙たまネットの作成(年2回)
- ・ホームページの管理
- ・おたすけカードの管理

児童委員会

目標:きずなへの一步、子ども達を支える地域の仲間を増やそう!

障害をもつ児童に対する支援の充実を図るため、関係機関とお互いの顔の見える、横のつながりがもてるように活動しています。

・こども達を支援している事業所のつどい
(平成28年7月実施)

相談支援委員会

目標:「多摩区、川崎市の相談支援を知り、連携する方法を考えていく」

相談支援の質の向上を目指した活動をしています。

・相談支援事業所のつどい(H28年10月)

当事者委員会

**目標：各施設のバリアフリー状況の調査、
及びバリアフリーマップの作成**

当事者が出かけやすい地域の情報収集を行っています。

登戸駅周辺のバリアフリー状況を調査し、バリアフリーマップの作成に向けての活動(平成28年9月かわさき宙と緑の科学館へ調査)

課題整理ワーキング

- **課題を抽出しやすいように書式を追加・変更
(委員会の活動内容報告書、年間報告書、
委員会会議録)**
- **課題提出票をもとに課題の検討、次年度の活動
へ向けた課題整理**

定例会

2か月に1回開催

グループ討議

7月:「街(地域)で助けてもらってよかったこと、余計だった経験」

意見⇒地域に出ていくことで外出の様子を地域の人にみてもらえるので良い。

車いす利用の方は電車は利用しやすいがバスは大変。

理解のあるコンビニもある。

9月:「防災について考える(日頃からの備え)」

意見⇒施設では備蓄をしている。避難訓練を行っている。安否確認の方法や

連絡体制の検討が必要(メール)。

アレルギーや障害特性(こだわりなど)に合わせた配慮を検討。

ご静聴ありがとうございました。

とびこもう地域の中へ つながろう麻生

麻生区地域自立支援協議会



専門委員会の設置

①児童委員会

障害児やその家族が抱える問題について取り組む。

②ネットワーク連携委員会

福祉団体以外（学校、企業等）を対象とし、障害深めるための活動についての検討や実施をする。

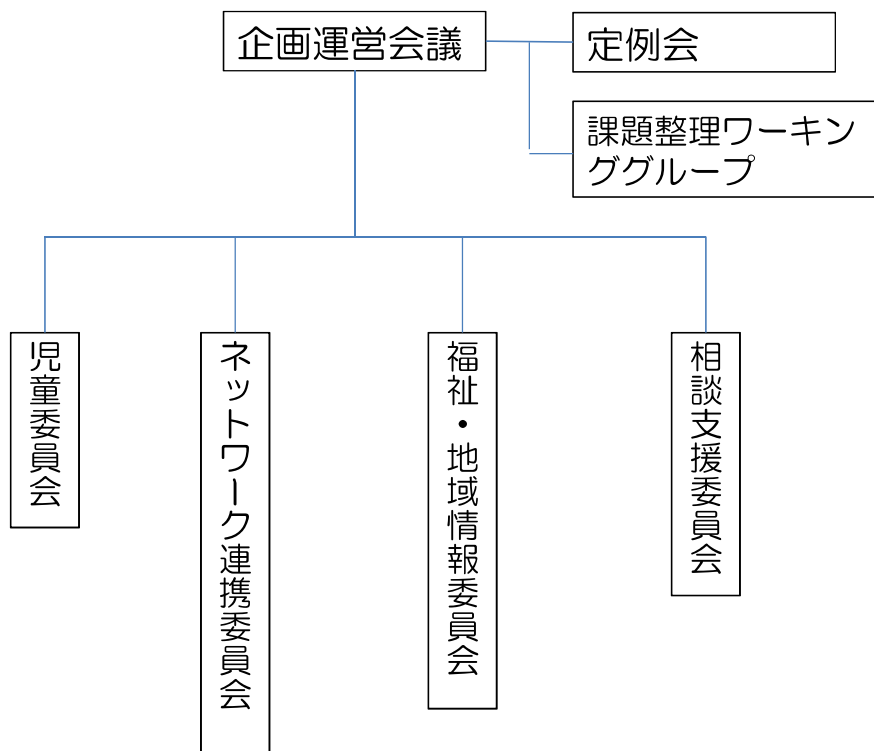
③地域・福祉情報委員会

当事者や家族に対して福祉情報を提供する。

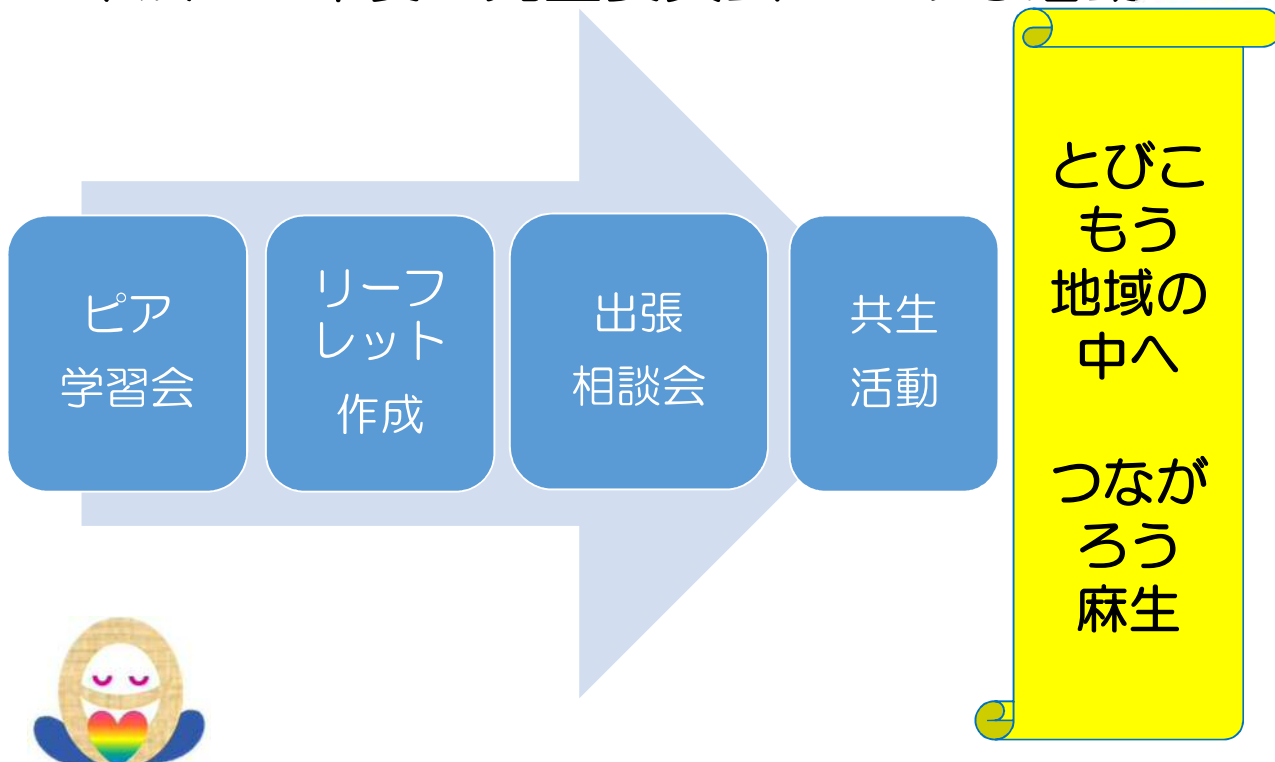
④相談支援委員会

より良い相談支援体制の構築に向けて検討する。

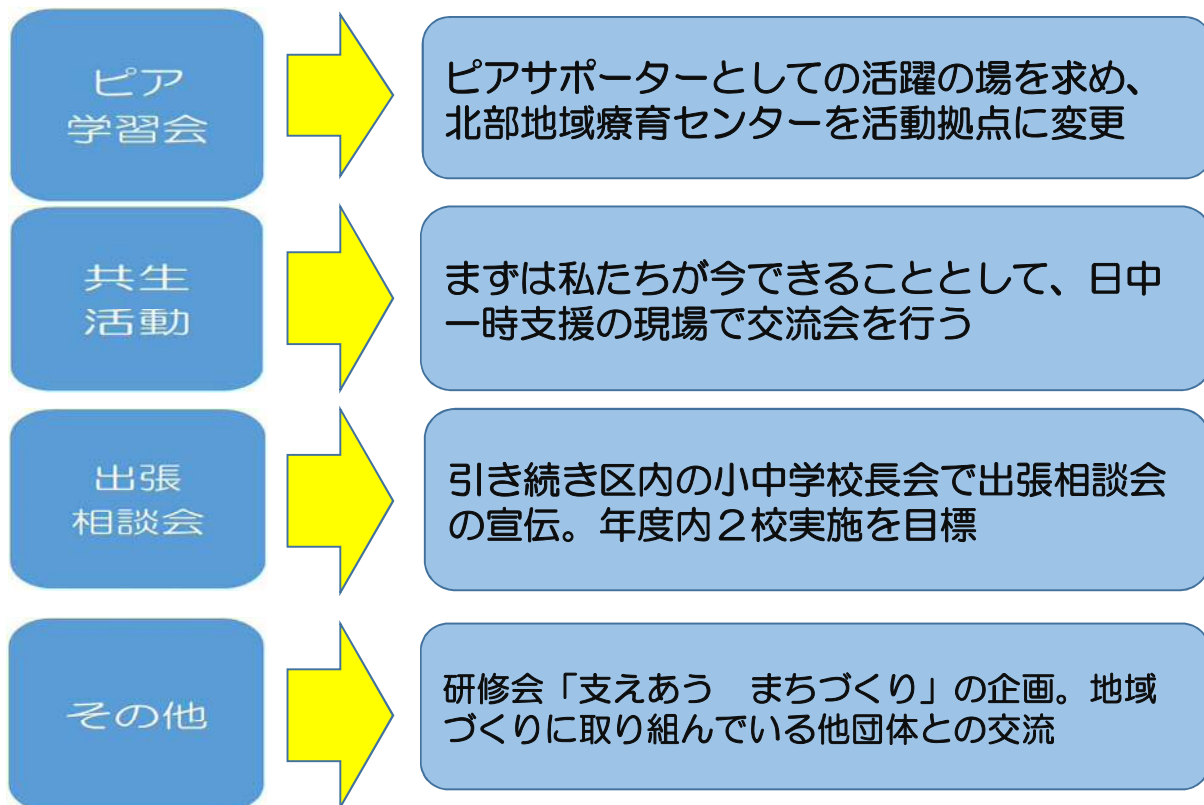
組織図



平成28年度 児童委員会における活動



平成27年度からの変更点等



今後

もっともっと

飛び込もう！



- ▶出張相談会をもっと多くの人に活用してもらいたい！
- ▶共生社会の実現に向けた第1歩、第2歩、第3歩を踏みたい！子どものうちから意識を育てていこう！
- ▶家族を孤立させない！私たちも孤立しない！家族から地域まで、つながりを深めていこう！



それが...

「とびこもう地域の中へ つながろう麻生」
の実現！

平成28年度ネットワーク連携委員会の活動について

目的

障害のある人もない人も共に生きる社会をつくるため麻生区の福祉団体以外（企業や高校や大学等の教育機関）と連携できるようにつながりの方法や手段を考えていく。

主な構成メンバー

アルデンテ、麻生区社協、百合丘日中活動センター、百合丘就労援助センター、百合丘障害者センター、ゆりの木、日だまり工房、働くしあわせ、しらかし園、柿生学園、当事者等3名、相談支援センター（柿生）

ネットワーク連携委員会 平成28年度の活動内容紹介

①つながろう麻生「地域福祉交流講座」の開催。

目的：障害の理解を深め「ともに生きる」ことについて考えてもらうきっかけとなるよう開催。夜間開催とし社会人や学生が参加しやすい時間帯を設定する。

内容：①聴覚障害者の話（ミニ手話講座もあり）
②視覚障害者の話（現役の大学生が話します）

実施日：平成28年①10月11日（火）②10月24日（月）

会場：麻生市民館①第一会議室②視聴覚室

講師：①麻生区聴覚障害者協会、②和光大学現役大学生

対象者：社会人、学生（高校生以上）等一般の方

②企業訪問インタビュー

新百合ヶ丘周辺の商業施設を対象としてインタビューを行う。
昨年度のイオン新百合ヶ丘店に続き今年度も継続実施。

①イトーヨーカ堂 新百合ヶ丘店（7月15日実施）

副店長他1名が対応、協議会からは4名出席

②ヴィレッジヴァンガード OPA店（7月21日実施）

店長が対応、協議会から4名出席

③小田急商事 odakyu ox（10月実施予定）

現在調整中

・インタビューの内容については内部周知だけでなく協議会のHPや各種広報誌等に記事として載せ地域住民に企業の福祉的取組み等を知って頂けるようにする。

・お互いが顔の見える関係となる事で地域で何か協働出来る事を考えていく。

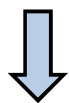
・企業側も自らの活動を地域に知ってもらいつながるチャンスと好意的にとらえてインタビューに協力していただけた。協議会としても認知度向上を図ることが出来た。

福祉・地域情報委員会

～当事者、家族に対して福祉情報を提供するには～

・生活をする上で困りごとを抱えている人は地域にいるのではないだろうか？

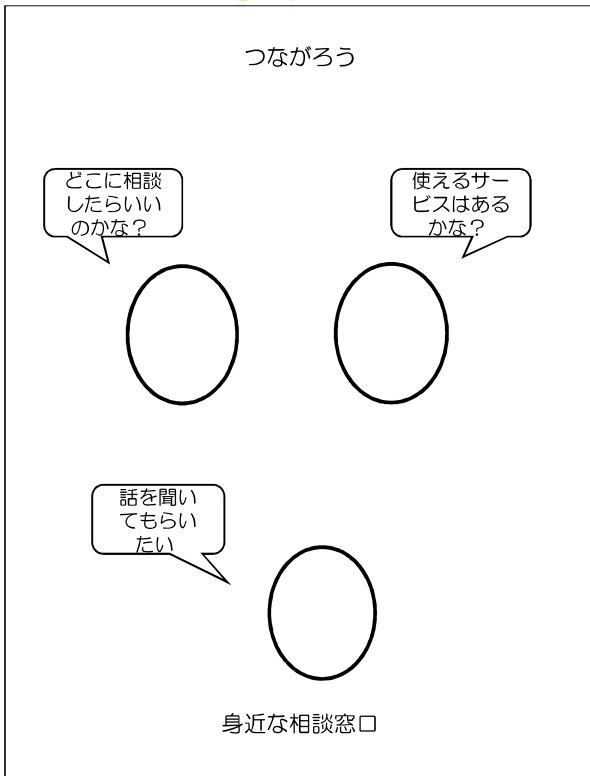
・どこで福祉情報が聞けるか分からないのでは？



そうだ！相談窓口が載っているカードを作ろう！！

つながろうカード

表面



裏面

お困(こま)りごとはこちらまで

麻生区保健福祉センター	044-965-5159
あさお基幹相談支援センター	044-299-8895
地域相談支援センター 柿生	044-987-1794
地域相談支援センター それいゆ	044-969-7447
地域相談支援センター ひまわり	044-322-9591

健康(けんこう)・生活(せいかつ)・働く(はたらく)ことなど困(こま)っていること、不安(ふあん)なことを相談員(そうだんいん)といっしょに考(かんが)えませんか？
 悩(なや)んでいるあなたやご家族(かぞく)、地域(ちいき)の方(かた)、お気軽(きがる)にご相(そう)談(だん)ください。

このカードは障害のある人が住みやすい街づくりを目指して作成しました。
 麻生区地域自立支援協議会

つながろうカード設置場所

- ・福祉施設
- ・学校
- ・大学
- ・近隣の商業施設
- ・区役所
- ・イベント時など

どこに置いたら手に取りやすいですか？

どこがいいかな？



相談支援委員会

活動目的

麻生区内におけるより良い相談支援体制を作り出す。

構成メンバー

あさお基幹相談支援センター、地域相談支援センター柿生、地域相談支援センターそれいゆ、地域相談支援センターひまわり、北部リハビリテーションセンター

今年度の活動内容

相談支援に関する説明会の実施、及び課題の抽出を行い検証を行う。

(スケジュール)

- 4月～6月 今年度の活動計画作成
- 7月～9月 アンケート案作成
- 10月 アンケート完成
- 11月 アンケート配布
- 12月 アンケート集計
- 1月 アンケート結果の周知と今年度のまとめ
- 2月 次年度の活動計画作成
- 3月 次年度の活動計画作成

★現在までの活動の進捗状況

当初予定していた内容を精査したところ、まず、区として相談支援についての課題を抽出する必要があるということとなり、大幅にスケジュールや取り組む内容が変更となった。

変更内容については、当初予定していた相談支援センターについての説明会は実施せず、まずは、相談支援センターを利用中の麻生区内の御利用者様を対象として現在の相談支援で感じている所についてアンケートを実施することになった。

現在はアンケートの内容と配布方法等について精査中である。

平成28年度 川崎市地域自立支援協議会 各区協議会 共通専門委員会(相談支援委員会)進捗状況一覧

平成28年10月現在

	目標内容		活動進捗状況	今後の活動予定
	長期目標	短期目標		
川崎区	つながり上手になる	事例を通じてつながり方を共有する	<ul style="list-style-type: none"> 各分野からの事例紹介の実施 ～具体例を通してつながりを考えていく～ 8月：関係機関の多いケース 10月：専門機関、行政、児童、相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> 事例紹介の実施 12月：就労系、相談支援センター
幸区	<ul style="list-style-type: none"> 地域の相談支援の在り方を検討して、相談支援のネットワークを作る 	<ul style="list-style-type: none"> 幸区内や近隣区域の相談支援事業の実情を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ① 障害福祉サービスを申請・利用しているが、計画相談支援を受けられないケースが多い。② 計画相談支援を推し進める為に必要な課題の洗い出しが出来ていない。③ 児童の相談支援の方法（相談の受け方や計画の立て方）を知りたい。以上の点から課題提出票を提出。 ・今年度新規の指定特定事業所3ヶ所を訪問し、これらの事業所で課題と感じていることを確認（9月） 	<ul style="list-style-type: none"> 委託相談支援センター意見交換会（10月） 指定特定相談支援事業所との意見交換会（1～2月） 障害児相談支援勉強会（2月）を実施予定。
中原区	中原区内の相談支援体制の標準化をめざす	事例を通して相談支援従事者の関わり方（姿勢）を検証する。	事例検討を実施する中で出てきた問題のうち、①児童相談所について知る、②児童期から成人期への移行時に支援が途切れる。繋がらない、③支援機関が情報共有するためのツールがないの以上3点に課題を集約した。	課題提出票へ落とし込んでいく
高津区	地域移行・地域定着の促進をはかる	高津区での地域移行・地域定着の実情を知る	昨年度から、地域移行・地域定着をテーマに活動を実施。昨年は、ハートフル川崎病院の見学を協議会で開催し、病院側に協議会を知ってもらうことができた。今年度は、入院患者と顔の見える関係を作る為、ピアたちばなとハートフル川崎病院の主催の懇親会に参加を予定している。また、東京都三鷹市で、地域移行・地域定着を実践している巣立ちの会に、地域移行・地域定着の実際の取り組みを話してもらうための企画を立案中。	ハートフル川崎病院の入院患者との懇親会（H28.11月実施予定） 講演会「地域移行の実際の取り組み」（巣立ちの会より話してもらう予定。H28.1月実施予定）
宮前区	協議会で取り組む相談支援の課題について整理する。	相談支援に関する課題を整理する。	平成27年度に行った課題整理表を元に、相談支援の課題を出し、その中からテーマを絞り、グループワークを実施。それぞれの問題のテーマごとに課題を深める作業をしている。	引き続き、テーマごとにグループワークを行う予定。
多摩区		多摩区、川崎市の相談支援を知り、連携する方法を考えていく	委員会内にて、行政、相談支援センターより多摩区の相談支援の現状の話聞く機会を設けた。相談支援の現状や問題点などを共有し連携していくため、10月18日に「多摩区相談支援事業所のつどい」を実施。今後につなげるためのアンケートを配布し、回答回収中。	アンケートをまとめ、第2回の内容を詰めていく。
麻生区	相談支援事業所の存在や取り組みを周知すること。	相談支援に関する説明会の実施、及び課題の抽出を行い検証を行う。	まずは先のとおり目標を設定したが、検討していく中でまずは麻生区内の相談支援に関する課題を確認し、その後改めて課題設定を行う必要がある、と認識するに至った。そのために、相談支援利用者向けにアンケートを実施していくこととなる。	アンケート作成後対象者に配布し、集計しさらに深めていく。

平成28年度 川崎市地域自立支援協議会 各区協議会 共通専門委員会(児童委員会)進捗状況一覧

平成28年10月現在

	目標内容		活動進捗状況	今後の活動予定
	長期目標	短期目標		
川崎区	教育機関等との情報共有	支援者への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 「川崎区障害児支援機関一覧表」の発行準備（平成27年度からの取組の継続） 	<ul style="list-style-type: none"> 「川崎区障害児支援機関一覧表」の発行（12月予定） 教育機関等との情報共有に向けた平成29年度取組内容についての検討
幸区	<ul style="list-style-type: none"> 幸区内特別支援教育コーディネーターとの連携 父親同士が語り合える場を設定し、つながりを作る 	<ul style="list-style-type: none"> 幸区内教育関係者への発信 父親が子どもと気軽に参加できる場を設定し、父子の触れ合う機会を作る 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度協議会で実施したイベントのアンケートより「自分の子供の、卒業後の進路先イメージがつかない」「どのような通所先があるのかわからない」「福祉施設の見学希望」の意見を頂いたことから、成人の福祉施設見学会を実施（9月） 	<ul style="list-style-type: none"> 区内中学校の現状把握 御幸中学校特別支援教育コーディネーターとの意見交換 「父子で楽しむふれあいサッカー教室」開催予定（11月）
中原区	つながる、広がる、支え合う	中原区内の配慮の必要な子どもたちの放課後を知る	<p>配慮の必要な子どもへの保護者に対する適切な情報提供の一環として、配慮の必要な子どもが利用可能な放課後の居場所や制度・サービスを調べ、福祉まつりにて広報・周知を行う。関連して、放課後等デイサービス事業所の新規開設が相次いでいることに伴って生じている利用の仕方や上限管理等に関する問題を共有するため、中原区放課後等デイサービス連絡会を2回開催した。</p>	この間の取り組みをふまえ、区内の配慮の必要な子どもたちの放課後の課題を整理し、課題提出票等に落とし込んでいく。
高津区	より良い療育の為にネットワークづくりを目指す	高津区内にある児童発達支援事業所や放課後等デイサービスなど定期的な交流の機会をめざし、ネットワークを構築する	他区や児童対象施設の状況確認を確認し、委員会で現状を踏まえて検討した結果、児童発達支援事業所や放課後等デイサービス事業所が急速に増えたことで、課題や困り感の聞き取り、事業所同士のネットワークも必要という話となり、交流会を企画し、第1回目の準備をしている。	児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所との交流会（11月8日と1月に実施予定）
宮前区	今まで情報が届いていない人たちに情報を届ける。	今困っていることを吸い上げていく。	地域の保護者・支援者を対象にした講座の企画。10月に「学齢期のサポート～子どもたちの育ちを一緒に考えよう～」をテーマに地域支援講座を開催していく。情報紙「ふれあいジュニア」発行に向けて、掲載する内容を検討。	講座のグループワークおよびアンケート結果から地域の保護者の困っていることを吸い上げていく。平成29年1月に情報紙を発行。
多摩区		きずなへの一歩、子ども達を支える地域の仲間を増やそう！	昨年度に引き続いて、第2回子ども達を支援している事業所の集いへの準備、企画、振り返りをおこなう。麻生養護学校を会場とし、北部、西部地域療育センター、放課後等デイサービス事業所などが参加。参加事業所からのアンケートをまとめ、第3回の開催に向けて準備している。	放課後等デイと学校教育の支援者間で顔の見える関係を構築したいことから、第3回を1月30日に開催予定
麻生区	児童及び児童にかかわる方々のニーズに応じた情報発信をする	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談「地域の障害があるお子さんをお持ちの家庭に対し、情報源の確保、発信を行う」・リーフレット「地域資源の利用時において、情報獲得の手がかりになるものとして大成させる」・ピアサポーター「重要な社会資源としての存続、活用」・共生活動「ともに活動することで、地域の子供、または地域住民の障害理解、受容につなげる」 	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談…小中学校長会で案内後、区内各校に回って宣伝を行った。年間2校での実施が目標。 リーフレット…文章訂正実施中。 ピアサポーター…活動場所を北部療育センターに移しいつでも相談できる体制を取りながら、勉強会や情報交換を合わせて行っている。 共生活動…委員所属事業所で行っている日中一時支援の場で交流会を企画中。 <p>※一部遅れがあるものの、テーマごとに目標に沿って順調な活動を展開することができている。</p>	目標達成に向けて現在行われている活動を引き続き継続していく。